

指定管理施設(総合福祉センター)事業評価表
 太平老人福祉センター事業分

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい			年度評価		平成29年度の実施状況		平成30年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
							H29年度	H30年度					
いきがいづくり、教養講座運営事業	1	教室	定員	回数	実施日	ねらい			実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	
		水彩画教室	13	24	第2・4月曜日	趣味や教養の向上を目的とするとともに、楽しく充実した生活が送れるよう、仲間作りの場を提供する。			24	277	24	340	定員13名に対し、新規5名を含む17名が参加。講師の個人指導がとても人気で、見学や問い合わせが多い。作品展が教室のPRの場となるよう努めた。 新規利用者が優先としているので、継続希望者は定員や状況に応じて、サークルを立ち上げるか、現在活動されているサークルに何人か移行して貰う等検討が必要。
		健康麻雀教室	44	73	毎週火曜日 第2・4金曜日				73	2,434	73	2,403	定員44名に対し、新規12名を含む67名が参加。教室の問い合わせが一番多く、人気が高い。29年度の課題であった、欠席者の集金方法や、午後からの参加が出来るように工夫した。また、出来るだけ多くの人が参加できるように、継続希望者は2グループに分かれて実施した。仲間作りの面からは毎回くじを引いて対局相手を変えたり、他の教室や、季節行事、単発事業にも参加してもらえよう声掛けをした。 31年度はさらに多くの人が参加できるよう、教室を2つに分け実施する。
		絵手紙教室	20	23	第2・4火曜日				23	258	23	227	新規2名を含む12名の参加。新規申込者には参加者同士が交流しやすい様、席の配置や、当番のやり方など、配慮した。出来上がった作品を参加者同士で評価し合ったり、講師からのアドバイスを受け、和気あいあいと実施できた。 31年度は引き続き毎月の「いこい」に追加募集したり、作品展などの場で教室のPRしていく。
		習字教室	16	24	第1・3水曜日				24	384	24	338	新規3名を含む16名の参加。講師の丁寧な個別指導が人気で、問い合わせが多い教室。定員を超えたので、新規の利用者を優先するため、継続希望者には現在活動されているサークルを紹介した。
		ペン習字	16	24	第2・4水曜日				24	239	24	217	新規4名を含む13名の参加。習字教室が定員となったため、ペン習字に申し込まれた方もあり。毎月の「いこい」にて追加募集を行ったり、習字教室の問い合わせが多いので、この教室を勧め、受講に繋がった。 31年度も引き続き、新規受講生を呼び掛けると共に、作品展などで、教室のPRをしていく。
		中級健康麻雀	20	24	第1・3水曜日						24	362	利用者のアンケートより、初心者健康麻雀教室からレベルアップした教室を16名の申込みで実施した。前に初心者健康麻雀を受講した方2名が追加で参加された。受講生は基本は理解しているものの、年度初めはゆっくり、丁寧な講師の指導で、人気が高く、毎回楽しみに受講されている。 31年度も引き続き公募はせず、初心者健康麻雀教室からのレベルアップ教室として、更に受講者同士の交流を深めていけるよう呼びかける。

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい		年度評価		平成29年度の実施状況		平成30年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
						H29年度	H30年度					
		編物教室	16	24	第2・4水曜日			24	265	24	252	新規3名を含む15名の参加。(途中、体調不良のため退会される方が4名)講師による個別指導を受けながら、初心者からベテランの方達同士が、出来栄を評価し合いながら、和やかな雰囲気を受講された。 31年度も引き続き、作品展では教室のPRを行い毎月の「いこい」に追加募集を掲載し、新規受講者の参加を呼び掛ける。
		写真教室	30	12	第3水曜日			12	222	12	222	新規3名を含む23名の参加。受講生は講師による作品の評価や、指導が受けたい気持ち強い。講師が高齢なため、健康に不安があるものの、31年度も現状のまま継続する。男性参加者が多いため、他の体操教室や、単発事業を紹介し、参加に繋げる。
		初めての麻雀教室	8	24	第2・4木曜日			24	383	24	443	定員の8名を大幅に上回る新規12名を含む23名の参加。年度途中からの受講希望者もあるが、定員越えのため断っているほど、人気が高い。 講師が点数の教え方、上がり方など、丁寧に指導されるが、受講者は理解に差があり、レベルに応じてグループ分けを行った。 31年度は中級健康麻雀教室へレベルアップできるよう、呼びかける。
		男の料理教室	20	12	第2木曜日	仲間と楽しく料理作りを行うことによって、料理と栄養に関する知識の向上を目指す。		12	192	12	168	新規1名を含む17名の参加。体調不良により2名途中退会するも、追加で2名受講された。新規の方と、ベテランの方を同じグループになるよう配慮した。また、準備片付けを担当にし、受講生同士交流を深められた。 31年度も引き続き料理の実習だけでなく、職員による指先ストレッチ、講師による栄養の話、資料の提供をし、また、他の単発事業や、男性の教室への参加を促す。
		青空小物作り教室	16	24	第1・3金曜日	趣味や教養の向上を目的とするとともに、楽しく充実した生活が送れるよう、仲間作りの場を提供する。		24	232	24	285	新規2名を含む、13名の参加。また、単発事業にて、小物作りに参加した方が、追加で3名受講された。教室の準備や、細かいパーツの配布など、参加者で協力されている。 31年度にはリーダー的存在の方を中心にサークルに移行していただく。引き続き、作品展や、「いこい」にてPRしていく。
		詩吟教室	30	24	第1・3金曜日			24	249	24	227	新規1名を含む12名の参加。家族の事情等により3名が途中退会。追加で2名の参加あり。 老人センターまつりや、他の発表会をチラシ等で掲載し呼びかけを行った。 31年度にはリーダー的存在の方を中心にサークルへ移行していただく。引き続き、発表会では「いこい」等で掲載し、PRしていく。

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい		年度評価		平成29年度の実施状況		平成30年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
						H29年度	H30年度					
		民謡教室	16	24	第1・3金曜日			24	224	24	241	新規2名を含む12名の参加。体調不良等により、2名が途中退会された。追加で1名参加された。 老人センターまつりや、他の発表会をチラシ等で掲載し呼びかけを行った。 年々参加者が減り、31年度にはリーダー的存在の方を中心にサークルへ移行していただく。引き続き、発表会では「いこい」等で掲載し、PRしていく。
		唱歌教室	100	24	第2・4金曜日			23	1,610	24	1,692	新規5名を含む90名の参加。体調不良で退会された方がみえるが、追加で10名申し込みがあった。作詞のエピソードや、どんな思いで作曲したのかを講師から話を聞き、曲にまつわる時代背景なども含め、歌を楽しまれている。 老人センターまつりでは男性の唱歌教室と合同で行い、交流を深めている。新規登録者には、参加しやすい教室のため、見学を勧め、受講に繋げている。参加人数が多く駐車場が混雑するため、近隣の施設に協力いただいで確保した。
		おじんの唱歌教室	30	24	第2・4金曜日			23	406	24	490	新規1名を含む22名の参加。追加で4名受講された。女性の教室と同じ講師の指導により実施。男性のみの教室で、気兼ねなく楽しく参加されている。 老人センターまつりでは女性の唱歌教室と合同で行い、交流を深めている。教室のメンバーで市民文化祭にも出演する等、活動の場が広がっている。 31年度も引き続き、他の男性教室への参加をPRする。
		パソコン教室 (初級コース)	10	43	毎週月曜日			22	152	43	432	6ヶ月のコースを前・後期2回実施。前期は新規5名を含む定員を超える11名の応募あり。後期は新規7名を含む定員を超える13名の応募あり。30年度は初心者向けの教室を太平のみで開催した。そのため他の老人センターでの受講希望があったり、初心者教室からレベルアップしたい人たちに、サークルを紹介するなど、3センターで連携を図った。 31年度も引き続き、きっかけはパソコン教室で老人センターを知った方が多いため、単発事業、季節行事、他の教室等PRし、参加に繋げる。
		パソコン教室 (中級コース)	10	48	毎週木曜日			24	191			利用者のパソコン教室で学びたい内容が多様化している。30年度から初心者教室のみで、実施しない。基礎以外の希望者には、サークルを紹介する。
		パソコン教室 (上級コース)	10	48	毎週金曜日			48	456			概ね同じ参加者が継続して受講している。30年度からはサークルに移行していただいた。「いこい」にサークル紹介を掲載し、初心者教室を経た方に紹介する。
		小計		523				452	8,174	427	8,339	

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい			年度評価		平成29年度の 実施状況		平成30年度の 実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、 課題分析、自己評価
							H29 年度	H30 年度					
		教室	定員	回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	
		水彩画さくら		24	第1・3月曜日	個々の趣味や教養の向上を目的とするとともに、サークル活動が、楽しく充実した生活が送れるようサポートする。			22	183	24	180	教室が定員オーバーになった時にサークルの活動紹介、PRに努めている。作品展では準備片付け等の協力をお願いし、参加を促した。
		習字スマレ会		24	第1・3火曜日		24	206	22	189	教室が定員オーバーになった時にサークルの活動紹介、PRに努めている。作品展では準備片付け等の協力をお願いし、参加を促した。「いこい」等でサークルの紹介掲載し、呼びかけた。		
		ひまわりの会		22	第1・3火曜日		19	208	21	199	作品展では受付当番を協力いただけた。また、教室の方達とも作品展の時に出来栄を皆で評価し、交流を深めている。		
		さざんか句会		11	第2火曜日		11	108	11	97	作品展等の発表に向けて月に1回、和気あいあいと楽しく活動されている。引き続き「いこい」等でサークルの活動紹介を掲載する。		
		水彩画水曜会		24	第1・3水曜日		24	158	24	163	教室が定員オーバー時にサークルの活動紹介、PRに努めている。作品展では準備、片付け等協力をお願いし、参加を促した。		
		習字サークルこぶし		24	第2水曜日 第4金曜日		24	163	23	145	教室が定員オーバー時にサークルの活動紹介、PRに努めている。作品展では準備、片付け等協力をお願いし、参加を促した。引き続き「いこい」等でサークルの活動紹介を掲載し呼びかける。		
		パソコン講座すみれの会		46	毎週金曜日				46	601	30年度に教室からサークル活動へ移行した。初心者教室を経た方にサークルを紹介し参加を促した。		
		土曜表装		48	毎週土曜日		18	73	18	79	「いこい」にサークルの活動紹介を記載したり、作品展にてPRする。会員は少数だが、今後も活動されることで、交流の場となっているため継続する。		
		七宝焼		24	第1・3日曜日		12	37	16	48	「いこい」にサークルの活動紹介を記載したり、作品展にてPRする。参加者が高齢のため30年度をもって終了する。		
		小計		247					154	1,136	205	1,701	
		計		770			12	12	606	9,310	632	10,040	
自立生活維持支	1	教室	定員	回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	
		フラダンス教室	40	24	第2・4月曜日	各種運動を通じて、健康増進や体力作りを行うことによって、自立した生活が維持できることを目指す。			22	369	24	325	14名の参加。追加で4名受講された。敬老会や老人センターまつりにて発表があるためそれに向け毎回練習している。また、発表の場が教室のPRになり、新規受講者の参加に繋がった。 31年度も「いこい」等で掲載し呼びかける。

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい		年度評価		平成29年度の 実施状況		平成30年度の 実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、 課題分析、自己評価
						H29 年度	H30 年度					
援事業		卓球クラブ	20	22	第2・4月曜日			22	338	22	315	定員20名に対し、新規6名を含む23名の参加。年間を通じて問い合わせも多く、人気の教室である。休憩する人、ピンポンを拾う人など、順番に出来るよう工夫した。 新規利用者が準備や片付けの方法ががわかりやすいよう、ベテランの方とペアを組み、交流が持てるよう配慮した。 31年度は卓球台の準備が高齢で負担と感じている女性の方もみえ、運ぶのは男性中心に、モップ掛けなどは女性というような配慮をする。
		バランスボールで 目指せマリリンモンロー教室	30	24	第2・4火曜日			24	526	24	342	新規6名を含む24名の参加。講師の都合により、午後の開催となったため、参加者が減少した。エアコンプレッサーを使ってボールの空気を入れる作業など、ボランティアに準備、片付け等の協力をしてもらえた。 31年度は利用者の要望で、午前に開催できるよう講師とも話し合い、可能となる。
		俺がやる俺のための バランスボール教室	20	24	第1・3水曜日			23	194	24	245	新規1名を含む11名の参加。体調により2名退会されるも、追加で5名受講される。毎月発行している「いこい」での追加募集や、男性の教室にはバランスボールを持ち込んで、運動の必要性をアピールし、まずは見学を呼び掛けた。 31年度は引き続き、老人センターの新規登録者に声を掛けて参加を促す。
		ヨガ教室	40	24	第2・4水曜日			24	801	24	754	定員40名に対し、新規2名を含む44名の参加。途中家族の事情や、体調不良による退会7名、追加3名受講される。初心者でもわかりやすい様、体験をしてから申し込みされたり、マットの配置に配慮した。 31年度も申込み期間中に体験をしてそのまま参加できるようにする。
		男のヨガ教室	20	24	第2・4水曜日			24	219	24	346	新規6名を含む17名の参加。追加で2名受講される。毎月発行している「いこい」での追加募集の他、男性中心の教室でPRし、見学を呼び掛けた。初めてヨガをやる方もみえるため、資料の配布をした。 31年度も引き続き、申込み期間中に体験をしてそのまま参加できるようにする。
		軽運動教室	40	24	第1・3木曜日			24	538	24	563	新規6名を含む29名の参加。女性中心の教室だが、男性1名が参加されて戸惑いを見せるも、声をかけ合い、良い雰囲気の中で新曲を練習した。老人センターまつりや他の発表にて教室のPRと、広報誌「ふれあい」に発表の様子を掲載して、新規教室参加に繋げている。 31年度も発表の場に教室のPRをしていく。

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい		年度評価		平成29年度の実施状況		平成30年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
						H29年度	H30年度					
		健康アップ体操教室	60	45	毎週金曜日			42	1,760	44	2,012	新規5名を含む58名の参加。追加募集をし、2名が参加。開催予定日のうち、1回は悪天候の為休講とした。週1回のストレッチ、筋トレ、有酸素運動を時間いっぱいまで運動できる人気の高い教室である。 31年度は準備、片付けを当番制にし、自主性を高めることで、地域でも新たな社会参加に繋がるようにしていく。
		計		211		11	11	205	4,745	210	4,902	
多世代交流事業	1	各種イベント	定員	回数	実施日	ねらい		実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	
		雑巾作り		1	4月5日	複合施設の利点を活かし、子ども、高齢者、障がい者等、誰もが参加できるような事業を開催し、多世代交流や利用者間交流を図る。		1	19	1	16	低学年の子供には針の持ち方や玉止め、縫い方を老人センター利用者が教え、出来上がった雑巾を見せ合っていた。新学年になったということで、学校の話で子どもたちと楽しく交流することができた。 31年度は事前の申込みを必要とせず、娯楽室で過ごしている利用者にも声掛けをし、参加を呼び掛ける。
		七夕		1	7月6日			1	261	1	260	老人センターのロビーに笹を置き、来館者が短冊に願い事を書いたり、折り紙でちょうちん、天の川や星を飾った。親子連れや、老人センターの利用者に、冷たい「葛饅頭」「水ようかん」の販売をした。短冊の願い事には、自分や家族の健康を願うものが多く、将来の夢など、微笑ましいものもあり、季節行事を楽しんだ。 31年度も飾りに工夫をしたり、毎月の「いいい」の掲載をし、参加を呼び掛ける。
		でこぼこ夏祭り		3	7月30日 8月1日 3日			2	85	3	247	夏まつりに向けて、老人センター利用者、ディサービス利用者、障がい者センター、児童センターの子供達と2日間、盆踊りの練習を行った。ボランティア講師による、うながっぱ音頭や炭坑節などを皆で踊り方の指導を受けた。当日は盆踊り、ゲームなどをして楽しんだ。ゲストにうながっぱの登場で子供達はとても喜んで一緒に撮影した。 31年度も引き続き、広報誌「ふれあい」に掲載し、参加を呼び掛ける。
		母子・父子福祉センター交流会		2	8月2日 17日			2	36	2	35	6年生の子供が中心となって伝言ゲームのチーム分け、ゲームの進行、説明を行って、皆が参加できる楽しい時間を過ごせた。雑巾作りでは、老人センターの利用者が縫い方を教えたり、低学年の子の頑張っている姿を励ましたりと、とてもよい交流会になった。 31年度も企画し、交流が深まるような企画をしていく。
		でこぼこ大運動会		1	10月4日					1	34	老人センター利用者と、児童センター乳幼児親子及びディサービスセンター利用者などで運動会を行った。玉入れ、レイ掛けレース、歩きっこなど、皆が楽しめて触れ合い、声掛けしながらできた。 31年度も毎月の「いいい」への掲載、各教室への呼びかけし、参加者の拡大を図る。

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい		年度評価		平成29年度の 実施状況		平成30年度の 実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、 課題分析、自己評価
						H29 年度	H30 年度					
		中学3年生との交流会		1	12月13日					1	107	老人センターの利用者と、デイサービスの利用者が、近隣の中学生の素晴らしい合唱を聞き、その後手話や、ゲームを楽しんだ。ボール回しでは高齢者と中学生が交互にボールを渡し、声掛けや相手に合わせながら楽しく触れ合い交流が出来た。 こういった企画で交流が深まるため、関連機関との連携、企画をしていく。
		花餅作り		1	12月17日			1	22	1	20	ボランティア3名の協力により、準備、見本作りを行った。乳児親子と高齢者で竹の枝を使い、色とりどりの米粉を小さく丸めたり、等間隔に付けて、季節行事を通して和やかな雰囲気での交流ができた。 31年度も引き続き、ボランティアに協力をお願いし、チラシ等での参加の呼びかけをする。
		新春お茶会		1	1月8日			1	230	1	222	福祉センター2階のデイサービス利用者や、障がい者センターが利用しやすいように、同階の中高生スペースに会場を設置した。お正月の雰囲気を楽しんでもらうため、児童センターの昔遊びのコーナーや、絵馬に願い事を書いてもらい、絵馬掛けに掛けてもらえるように工夫した。お茶サークルの方の協力で抹茶を振る舞い、ボランティアの協力で琴の演奏を聴き、お正月らしいひと時を過ごしていただいた。 また近隣の施設にも参加を呼びかけ、31年度も中高生スペースで行えるよう企画していく。
		卓球大会		1	3月29日			1	16	1	21	小学生の春休みを利用して、児童センターの卓球クラブの子供達と老人センターの利用者で開催した。トーナメント対戦し、応援をしたり、点数をカウントしたりして、楽しく交流できた。低学年の子には特別ルールの設定や、経験年数やレベルへの配慮をした。 31年度もレベルに配慮しながら楽しく参加できるよう、チラシの配布、呼びかけをしていく。
		計		12		12	13	9	669	12	962	
地域 交 流 事 業	1		定員	回数	実施日			実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	
		わいわい教室		28	木曜日	誰もが参加できるような事業を開催し、利用者間交流を図る。季節行事を行い、地域の仲間づくりや閉じこもりを予防する。		38	469	28	293	職員による脳トレゲームや季節の折り紙などを参加者同士のおしゃべりも交えながら楽しんだ。事前の申し込みを必要とせず、気軽に参加でき、老人センターの新規登録者には見学を勧め、参加を促した。健康の話や日常生活の話など〇×クイズ形式を取り入れたり、楽しく参加できるよう工夫した。 月に1回は専門講師による講話に参加を促した。 31年度は広報誌「ふれあい」毎月発行の「いいい」に紹介記事を掲載し新規利用者の拡大を図る。

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい		年度評価		平成29年度の実施状況		平成30年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
						H29年度	H30年度					
		消費者トラブル対策講座		1	6月21日					1	25	電話やハガキを利用した詐欺の手口を消費生活相談員による寸劇にて、最新の手口の対策を学んだ。事前の申し込みを必要とせず、老人センターの教室参加者にも参加を促した。
		敬老週間		1	9月10日～15日			1	456	1	568	「多治見市消防音楽隊」による演奏、ボランティアによるマジックショー、よさこい踊りやオカリナ演奏など日替わりの内容でデイサービス利用者や、老人センター利用者が一緒に参加され、楽しんでいただけた。 31年度も引き続き、毎月発行している「いこい」や広報誌「ふれあいあい」によるPR、会場入り口等にチラシで呼びかけたり、近隣の施設に案内をし、地域の皆様も気軽に楽しく参加できる交流の場をつくる。
		健康麻雀大会		1	10月2日					1	41	3月に行っている「老人センターまつり」で「健康麻雀大会」を開催していて、申込者多数のため2回に分けて行った。ボランティアが中心となり、準備や片付けを自主的にを行い、協力いただけた。普段の和気あいあいの雰囲気とは違い、順位付けされ優勝目指して皆さん張り切って楽しまれた。 31年度もボランティアに協力してもらい、交流の場として実施する。
		合同二吟発表会		1	10月25日			1	32	1	23	詩吟教室の日頃の練習の成果を発表することで、地域の皆様にも聞いていただき、新規で教室に受講していただくきっかけづくりの場となった。 31年度は毎月発行の「いこい」に掲載したり、チラシ等で呼びかける。
		ふれあい作品展		1	11月6日～13日			1	1,745	1	1,825	市内の福祉施設や福祉団体等に出展を呼びかけ、31団体(内1団体は新規)の申し込みがあった。昨年度のアンケート結果より、開催期間を一日増やした。各施設・団体の期間中の来館予定をあらかじめ日程調整し、駐車場やエレベーターの混雑を避けるよう努め、毎日エレベーター待ちが多いイメージがなかった。会場の準備や片付けの作業のほか、展示期間中の受付当番は事前の説明会にて周知し、出展者にもご協力いただいた。 開催期間中は駐車場が混雑するため、近隣の施設に協力いただいで確保した。 31年度も出展の募集に先駆けて開催期日を周知し、作品づくりの準備がしていただきやすい状況をつくる。
		楽友会コンサート		1	12月14日			1	116	1	128	ボランティアによるピアノと合唱で、クリスマスソングや、季節の歌を披露いただいた。毎月発行する「いこい」に案内を掲載し、チラシで呼びかけるとともに、会場は大きなクリスマスツリーと装飾を飾って雰囲気を盛り上げた。当日でも聴いていただけるよう、声掛けをした。 31年度はデイサービス、障がい者センター、近隣施設にも案内し、参加を呼び掛ける。

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい		年度評価		平成29年度の実施状況		平成30年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
						H29年度	H30年度					
		老人センターまつり		1	2月26日～3月1日			1	587	1	486	老人センターまつりの中の囲碁・将棋・健康麻雀大会では、ボランティアで準備片付け等、協力をいただき交流を深めた。ステージでは、フラダンスや軽運動、唱歌、民謡、詩吟など、教室に通っている方々による日頃の練習の成果を披露した。多治見市郷土資料館のご協力により、「多治見レトロ写真展」では多くの方が懐かしんでいた。手作りの「健康おみくじ」を設置し、運試しと健康アドバイスに利用者は気軽に楽しんでもらうことができた。 31年度も近隣の福祉施設にも案内し、参加を呼びかけたり、毎月発行している「いこい」の掲載、チラシにて呼びかけを行う。
		多悠連合同作品展		1	3月9日～11日			1	746	1	649	多治見市悠光クラブ連合会の会員による手作り作品と、老人福祉センターで開催している教室（習字、ペン習字、水彩画、絵手紙、編物、写真、小物）で制作した作品のほか、自主的に活動しているサークルからも俳句や表装、水彩画、習字、絵手紙などを出展し、来場された方は、細かな装飾や力強い筆遣いなどに関心を持って見入っていた。 多悠連からの強い要望で土日開催を実施した。働いている世代の子供や、孫世代の来場があった。多悠連と打ち合わせを行い、準備の手順や役割について情報を共有し、会場の設置、撤去、開催期間の受付当番等、出品者にボランティアとして協力を得た。 毎月発行の「いこい」に案内を掲載するほか、チラシや事前からの会場入り口への看板設置、広報紙「ふれあい」への掲載等により、利用者に周知するよう努めた。 31年度は多悠連からの要望を受け、曜日を変更して開催する。
		計		36	—	12	12	44	4,151	36	4,038	
個人利用	1	各種	定員	回数	実施日	ねらい		実施回数（回）	参加延べ人数（人）	実施回数（回）	参加延べ人数（人）	
		血圧測定				誰もが自由に訪れ、憩い、楽しめる空間づくり、仲間づくりができる場を提供する。		—	7,094	—	7,137	毎日利用していた方達が、心身の衰えにより利用されなくなったり、天候により利用者数が減る傾向にある。教室参加者の方に、利用を勧めたり、新規教室申し込み者にも利用の案内を徹底した。広報紙「ふれあい」に老人福祉センターを紹介した記事を掲載した。
		カラオケ						—	1,939	—	661	不特定多数の方が利用されるため、ヘルストロンのカバー、座布団を定期的に洗濯した。
		ヘルストロン						—	15,101	—	14,341	多治見市より、パワリハの機械を和室に設置するにあたり、囲碁、将棋、ビリヤードの利用者を把握した。29年度は多悠連の機械の事情により無料だったカラオケが有料になった事、配置換えにより、囲碁将棋の部屋とカラオケの部屋が隣同士になった事により、利用者が減ったと考えられる。
		運動器具						—	4,837	—	3,974	引き続き声掛けや掲示等での受付簿の記入漏れを呼び掛け、実際の利用者数に近づけられるよう改善を図る。
		囲碁・将棋						—	—	—	2,436	
		ビリヤード						—	—	—	692	

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい		年度評価		平成29年度の 実施状況		平成30年度の 実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、 課題分析、自己評価
						H29 年度	H30 年度					
		その他						—	9,579	—	9,414	
		計				10	10		38,550		38,655	
老人 クラブ の支 援	1	各種	定員	回数	実施日	ねらい		実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	
		カラオケ教室			不定期	多治見市悠光クラブ(多 悠連)の事業が円滑に行 われるよう連携を図る。		25	575	9	154	多悠連の事業に参加・協力し連携を図った。事業の実施 にあたり、必要に応じて指導・支援を行った。 カラオケ教室は、多悠連の事情により、9月までで終了し た。 社協が地域福祉事業を推進していく中で、関係団体の1 つとして連携を強化している。 31年度も引き続き、多悠連事務局の不在時におけるカラ オケの取り扱いなど、できる範囲で協力する。
		多悠連理事会		1	偶数月第3金曜日			6	180	6	165	
		多悠連総会		1	5月7日			1	113	1	111	
		多悠連軽スポーツ大会		1	5月24日			1	211	1	227	
		多悠連演芸大会		1	10月6日			1	136	1	125	
		計		4			10	34	1,215	18	782	
各種 相談 事業	1	各種相談事業	定員	回数	実施日	ねらい		実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	
		各種相談事業			随時	高齢者の生活や健康に 関する相談に応じ、適当 な援助、関係機関と連携 を図っていく。		—	36	—	33	問い合わせや相談で一番多かったのは、老人福祉セン ターはどんな利用ができるのか、教室や仲間作りなど出来る 場はないかとの事だったので、施設の案内と共に、気軽に 参加できる教室や、季節行事や、単発事業などの紹介し て利用につながるよう努めた。地域包括包括支援センター や関係部署とも連携を取りながら対応した。
		計					11	36			33	
生業 及び 就労 支援 事業	1	相談事業	定員	回数	実施日	ねらい		実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	
		高齢者就業相談		12	第2金曜日	高齢者の生業及び就労 等について指導を行う。		12	3	12	6	毎月1回、相談日を設け、シルバー人材センターの協力 を得て相談事業を実施した。直接に職業の斡旋することは できないため、シルバー人材センターやハローワークの紹 介に留まっている。広報に記載し、相談日の周知に努め る。 相談日には利用者にわかりやすい様、案内掲示すること で、気軽に利用した方があった。
		計		12	—		10	12	3	12	6	

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい		年度評価		平成29年度の実施状況		平成30年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価	
						H29年度	H30年度						
独自事業	2	その他教室	定員	回数	実施日	ねらい			実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	
		チャレンジ			随時	様々な企画を提供する中で、老人センターのPR及び教室の立ち上げに繋げていく。			12	200	13	201	29年度の利用者アンケートや、高齢者の関心が高い事など単発事業にて実施。初めて老人センターを利用される方には案内し、参加することにより、利用のきっかけになっている。 「座ってガッツリ体操教室」は委託事業の介護予防教室から受け皿として31年度教室を立ち上げる。 4月 健康講座 5月 ウォーキング、骨盤底筋体操 6月 園芸教室・骨格体操 7月 折り紙 9月 ウォーキング 10月 園芸教室・小物作り 11月 押絵作り 12月 園芸教室 1月 座ってガッツリ体操 3月 座ってガッツリ体操
		終活応援			随時	これまでの人生を見つめ、また、これからの人生をどのように生きていきたいか、思い描くきっかけになるような講座を企画し、老人福祉センターのPRと新規利用者の拡大を図る。			4	101	10	572	老後あんしん講座は「多治見ストーリー」の協力で、3つの老人センターで実施した。毎回60名程参加し、この講座の新規利用者が20名程登録され、老人センターのPRすることが出来た。 31年度もアンケートより、関心の高い内容を実施する。 7月 第二の心臓といわれている足を守りましょう 食事の改善からの認知症予防講座 9月 認知症予防講座 10月 生前整理 健康講座 11月 家族葬の実際 12月 認知症から財産を守る 1月 墓じまいの実際 2月 同居より近居 3月 相続とは
		計		—			12	13	16	301	23	773	